

令和四年度 奈良県知事賞

税とは

奈良県立奈良南高等学校 一年 川崎 紫音

私は今まで、税金は面倒くさくて嫌いだった。しかし、税金は私達の生活に必要な不可欠なものだと、税金についてくわしく勉強してそう思った。私は税金のことをしっかり理解せずに、必要ないと思っていた。なので、第一に税金とは何かについて調べた。

税金とは、国や地方公共団体が必要な経費をまかなうため、国から強制的に徴収される金銭のことである。税金には、いろいろ種類がある。たとえば、私達の身近にある、商品の販売やサービスの提供などの取引に対して課税される税である消費税や、会社からもらう給料や、自分で商売をして稼いだお金などにかかる税金の所得税、法人の所得に対して課せられる法人税、揮発油に対して課せられる揮発油税（ガソリン税とも呼ばれる）、酒税やタバコ税など色々なものが存在するのである。よく馴染みがある消費税だけでなく、たくさん種類があって驚いた。

では、その税金はどこに使われているのか。税金は主に国民の生活や健康、安全を守るために使われている。税金が利用されるのは公的年金や医療保険、児童手当や生活保護などがある社会保障や、学校、図書館、公園、病院の建設、道路、上下水道の整備、河川の改修などの公共事業。学校への援助に使われる、小学校や中学校へ教科書を配布したり、国公立大学や私立学校の援助したりするためにも使われる。国の防衛や、現在流行としている新型コロナの対策予備費など、様々なところに税金が使われているのである。私達が払っている税金は、自分達の身近な場所で使われていることを知り、驚いた。私は今まで税金が他の誰かに使われていると思っていた。しかし、実際にはみんなで集めた税金を、みんなで分け合って使っているということを知った。より税への知識が深まった。

この作文を書き、より詳しく税金のことを知り、税金は私達が生きていく中で、なくてはならない存在だと思う。だからこそ私達納税者は、税の使い道をしっかり理解することが大切である。税金への関心を高めることによって、私達の生活の質を高めることができる。そして、未来の世代にも繋げられるようになる。国民の一人ひとりが、税への関心を深め、きちんとした理解をすることが大切である。